

科目名	ヘルスケア概論		Subject	Overview of Healthcare				
サブタイトル	ヘルスケア概論 現代におけるヘルスケアの課題を知り、解決策を考える							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
2 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	2 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	森 優紀			メールアドレス	yuuki.mori@・・・			
教員の略歴	2013 年 東邦大学大学院 医学研究科看護学専攻 博士課程修了 博士(看護学)、看護師、保健師、行政書士、3 級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を保有 著書「看護学テキスト NiCE 成人看護学概論」2010 年、論文他							
実践的教育	×							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
美的探求には、外見を磨くだけでなく、身体を健康に保つことも重要である。健康を保つためには、個人の健康管理への努力だけでは達成することは困難であり、社会的な健康に関する要因が大きく影響する。そのため、わが国では、個人のみならず、地域・学校・職域等の集団に対して、疾病の予防・健康の保持・増進活動が展開されている。これらを実行可能とするために、これらに関連する様々な法律、それによる具体的施策が存在する。健康に関する法律および施策は、国民を対象にした各種調査の結果に基づいて作成されている。本科目では、健康に関する調査がどのように行われているか、その結果、どのような法律・施策が作成されているか、その流れと具体的な法律・施策・その意義等について学習する。最終的には、医療・保健・福祉における学術上の基本的知識を習得するのみならず、社会に進出した際には、即戦力となるような実践的知識も会得することを目指す。現代のヘルスケアの課題・取り組みについて知り、解決策を見出す力を身に着ける。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	・わが国における三大疾病等に関する保健統計の近年の傾向・健康課題を説明することができる。 ・医療、保健現場における個人情報、インフォームドコンセントについて説明できる。 ・わが国の主要な母子保健・歯科保健・介護保険・障がい者福祉の概要について説明できる。 ・感染症・食中毒等のわが国の現状と予防対策について説明できる。							
DP3	健康管理に関わる問題を主体的に捉え、その解決策を具体的に述べることができる。							
教科書・教材								
教科書	公衆衛生がみえる 2024-2025 医療情報科学研究所編集 メディックメディア発行 2024年3月							
参考文献								
各自準備教材								
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
60%	-	10%	-	30%	-	-	-	+%
レポートの提出がない場合、評価対象とはしません。 なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
筆記試験の要点については掲示にて解説を行います。								
履修上の条件・注意								
問いや課題には、個別・グループを問わず積極的に取り組み、解答に努める。本授業は双方向で展開するため自身が問いかけられていない場合も、他者の意見や解答を傾聴する。事例検討などの演習には真面目に取り組む。自身の出欠席数は各自で把握し、自己管理とする。Classroomとメールを定期的に必ず確認する。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	講義の進め方、概要を理解し、準備することができる。	・健康や疾病と美容の関連性について、レポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・現代の公衆衛生で問題になっている事柄、病気の予防について調べ実生活における行動を計画する。	240 分
第 2 回	健康の概念、健康に影響を及ぼす要因、疾病の予防とは何かを学ぶ	健康の概念、健康に影響を及ぼす要因、疾病の予防とは何かを説明できる。	・健康の概念等について、レポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・健康に影響を及ぼす要因を実生活に当てはめ、どんな対処をすればよいか考え実生活における行動計画し実践する。	240 分
第 3 回	保健統計の意義と種類（1）保健統計の意義・種類、人口静態統計（国勢調査）について学ぶ	保健統計の意義、種類、人口静態統計（国勢調査）とは何か、調査結果について説明できる。	・保健統計の意義と種類等について、レポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・人口静態統計（国勢調査）をウェブサイトで検索し何が問題となっているか実生活の場面に即して考え自己講義する。	240 分
第 4 回	保健統計の意義と種類（2）人口動態統計について学ぶ	人口動態統計とは何か、調査結果について説明できる。	・人口動態統計の各調査項目をレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・人口動態統計をウェブサイトで検索し何が問題となっているか実生活の場面に即して考え自己講義する。	240 分
第 5 回	保健統計の意義と種類（3）三大疾病等に関する統計の調査項目と現代の傾向について学ぶ	三大疾病に関する統計の各調査項目結果と現代における傾向について説明できる。	・三大疾病の現代の傾向についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・現代における疾病構造についての課題を考え自己講義する。	240 分
第 6 回	保健統計の意義と種類（4）有訴者率・通院率・推計患者数等に関する統計の調査項目と現代の傾向について学ぶ	有訴者率・通院率・推計患者数等に関する統計の各調査項目結果と現代における傾向について説明できる。	・有訴者率・通院率・推計患者数等の現代の傾向についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・有訴者率・通院率・推計患者数等の調査結果から現代における課題を考え自己講義する。	240 分
第 7 回	医療・保健現場における倫理と患者の権利、個人情報、インフォームドコンセントについて学ぶ	医療・保健現場における個人情報の取り扱い、インフォームドコンセントについて説明できる。	・個人情報とは何か具体例を挙げレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・実生活において個人情報を保護する行動を実践する。	240 分
第 8 回	医療・保健に係る医師・歯科医・看護師等の資格とその特徴、関係法規について学ぶ	医療・保健に係る医師・歯科医・看護師等の資格とその特徴について説明できる。	・医療・保健に係る資格等についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・実生活において医療従事者等の専門職の行動を観察し特徴を自己講義する。	240 分
第 9 回	ライフサイクルと社会保障制度の 4 本柱について学ぶ	社会保障制度の 4 本柱、医療保険について説明できる。	・社会保障制度の 4 本柱、医療保険等についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・行政機関の web site、介護保険証、母子健康手帳等を実際に見て社会保障の仕組み・流れを自己講義する。	240 分
第 10 回	地域における保健、福祉の仕組み（1）地域保健、成人保健について学ぶ	保健所、市町村保健センターの役割、各種健康診断について説明できる。	・保健所、市町村保健センター等についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・自分の住む管轄保健所等のウェブサイトから事業を調べ、自分が事業を展開するならどんな企画をするか考える。	240 分
第 11 回	地域における保健、福祉の仕組み（2）母子保健について学ぶ	母子保健の概要について説明できる。	・母子保健としてどのような施策、サービスがあるかレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・母子保健上の問題を実生活から考え自己講義する。	240 分
第 12 回	地域における保健、福祉の仕組み（3）高齢者保健について学ぶ	介護保険、在宅医療・福祉の概要を説明できる。	・介護保険制度についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・自身が住む地域にはどのような高齢者施設があり、どんな活動をしているかウェブサイトや広報等で調べる。	240 分
第 13 回	地域における保健、福祉の仕組み（4）障害者福祉、精神保健福祉について学ぶ	ノーマライゼーション、QOL、バリアフリー等の概念と各種施策の概要について説明できる。	・ノーマライゼーション、バリアフリーとは何かレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・自身が住む地域の障がい者福祉施設にはどんなものがあるか調べる。	240 分
第 14 回	地域における保健、福祉の仕組み（5）歯科保健、感染症対策、食品衛生について学ぶ	ライフサイクルに応じた歯科保健予防、感染症の予防、食品衛生について説明できる。	・歯科保健予防、感染症の予防、食中毒等についてレポート用紙 2 枚程度にまとめる。 ・実生活において歯科予防、感染予防対策、食中毒予防を実践するための行動計画を立て実践する。	240 分
第 15 回	まとめと解説	これまでの学びの概要を説明できる。	全講義の振り返りを行い、特に実生活において行動してみた保健行動について学生同士でディスカッションを行い、その結果をレポート用紙 2 枚程度にまとめる。	240 分